令和4年度特別養護老人ホーム富士まかど事業報告

1　事業運営の概況

本年度は、定員 80 名のところ、5 月には満床となりスムーズな運営ができた。施設の開設から 10 年が過ぎ、当初から入居されている方が亡くなるケースが多くなったほか、男性の入居者が増加してきている。

また、入所申込者が減少傾向にあることから、様々な営業活動を行い、申込者の増加を図った結果、新規入居者 19名、退所者 20 名となった。

退所者の内訳は、死亡による者は 19 名、長期入院による者が1名であった。

1日の平均入居者数は 78.5 名、前年度対比 100.7%、年間稼働率は、目標の 98%に対して 98.1%であった。

2　事業計画実施状況

(1)　職員確保と人材育成

①　職員確保

職員確保のため、離職防止と新規雇用促進に取り組んだ結果、常勤 1 名、非常勤職員 4 名の合計 5 名を雇用することができた。

②　人材育成

個人面談を通じて組織目標と個人目標を設定し、主体的に職務遂行が出来るように取り組んだ。ユニットリーダーの実施研修は 2 名の職員が参加した。

外部研修は、コロナ禍にあり引き続きウェブ上で実施されたことから、多くの職員に受講させ、知識と見識の向上を図った。

内部研修は、状況に応じてレポート形式やラインワークスを利用した動画研修を取り入れる等の工夫を行い、実施した。

職員が入職する際には、オリエンテーションを実施し、業務内容の他に「身体拘束廃止」「事故防止対策」「感染防止対策」の研修を実施した。

(2)　健全な施設運営

①　目標稼働率 98%以上で運営

空床発生から出来るだけ1週間以内に次の入居の受け入れを目指したが、家族の都合で空床発生から5日後の入居や2週間後の入居となる場合などがあった。

個人面談や会議を通じて、メッセージを発信することにより、富士まかど全体で稼働率向上に対する意識付けが出来た。

② 的確な介護給付費の取得

算定可能な加算の取得に努めたことから日常生活継続支援加算を取得できた。

③ 節電対策

年間デマンド設定最高値を146kwとする中、施設内照明のLED化に加え、こまめなエアコン調整により比較的暖房を控えるなど節電に努めた。

④ オムツ使用量の削減

使用アイテムの見直しや毎月の使用量と費用の実績報告を各部署に行い削減に努めたが、物価高に伴いオムツの購入費は増えた。

⑤ 備品管理

開設より10年が経過し、備品の劣化破損や故障箇所が相次ぎ、買替や修繕費用が増大した。前年度に引き続き、車椅子のタイヤ交換や簡単な部品交換等は、職員が修理を行いコスト削減に努めた。

(3) 介護サービスの質の向上

① 部署・ユニット単位目標カードの実施状況について

目標カードを作成。目標達成に向け6ヶ月毎に評価を行い、1年間の成果について検証を行った。また、堅実な事業運営、サービス向上とコスト削減等の取り組みに努めた。

② 重度化への対応

・新規入居については、介護度4以上の方を中心に生活状況などを確認しながら検討し、入居者の平均介護度は前年度3．6に対し、3.8となった。

・ユニット型施設の特色である個室を活かし、ターミナルケアを18名実施した。（昨年度10名）。

③ 医療ニーズへの対応

・本年度の経管栄養の利用者は2名であった。（昨年度は3名。）

・喀痰等吸引実施研修については新型コロナ禍の影響を受けて外部研修が中止のため、看護師による手技等の確認研修を実施した。

④ サービス向上に向けた取り組み

・面会や差し入れ等、利用者や家族からの要望にできるだけ応じたが、できない場合は懇切丁寧に事情を説明した。

・入居者の生活の様子が家族に伝わるよう、毎月写真付きの手紙を送付した。

⑤ QOL（生活の質）の向上

・季節に合わせた全体行事を予定していたが、コロナウィルスの感染状況に応じて、ユニット毎での行事を行った。誕生日会と華道クラブについては、ユニット内で月1回実施した。

（4） 地域公益活動の推進

富士見台地区民生児童委員会協議会に毎月１回参加し、事業内容をアピールすることが出来た。また、広報紙「まかど便り」を配布し、情報発信を行ったが、地区の行事については中止が多く、地域の人たちと交流することができなかった。

（5） 入居者の権利擁護と虐待防止

虐待防止委員会を立ち上げ、入居者の権利擁護と虐待防止について、意識を高める活動を行った。特にスピーチロックや不適切ケアの改善に重点を置いた。しかし、残念ながら職員による虐待事例が１件発生したことから、市の立ち入り調査が入り、改めて改善のための会議や研修を行った。

（6） 非常災害対策

防災対策委員会を中心に毎月会議を開催し、防災に対する教育と防災訓練を行った。また、事業継続計画の見直しを行い、より実用的なものにしていく作業を行った。

３ 各部署の取組みと委員会活動

（1） 各部署の取組み

① 事務職

・事務職の業務内容及び現在の進捗状況を共有し、全事務員が処理対応できるよう努めた。

② 介護職

・ケアプランに沿った介護ケアに努めた。

・協力ユニット間の入居者について、介護等の情報共有を強化し、入居者が過ごしやすいようにケアすることができた。

・入居者が楽しみのある生活を送られるよう感染症対策を整え、無理のない外出やレクレーションを計画し支援することができた。また、個別の対応が必要な入居者に対して、側に寄り添い話し相手になったり、散歩等を行ったりして気分転換を図った。

③ 看護職

・介護職との連携を密にし、喀痰吸引等における資格取得のフォローに努めた。喀痰吸引資格取得者に対し、月に数回手技等の研修を実施した。

・緊急時の受診については、ご家族に入居者の情報を伝え、出来るだけ安心できるようにした上で受診につなげた。

④　生活相談員

・入所前面接の効率化を図り、常に空きが出来ないよう工夫をした。

・民生児童委員を通じて施設の強みや魅力等を外部に発信し、地域等との連携を行った。

・パソコンソフトの活用方法の検討と見直しにより、常に入居者全体の詳細な情報を把握できるように入力方法等の統一化に努めた。

⑤　施設ケアマネ

・入居者全員のケアカンファレンスを年2回実施し、各職種間での情報共有を行った。

・入居者の立場に立った、その人らしいプランを作成し周知を図り、統一したケアの提供に努めた。

⑥　管理栄養士

・他職種及び委託業者と連携を図り、入居者に合った食事の提供を行った。

・感染症に注意し、入居者が楽しめる行事食の企画と運営を行った。

・適正な食事が提供できているか検証を行った。

⑦　機能訓練指導員

・入居者の身体状態を定期的に確認し、それぞれの入居者にとって必要な訓練計画を作成し、訓練を実施した。

・ユニット介護職員とコミュニケーションを図り、円滑に機能訓練を実施した。

（2）　委員会活動

①　感染症対策委員会（毎月　第2金曜日）

・「感染症ゼロ」を目指し、日々の感染予防対策を個々の職員が正しく理解できるように情報発信を行った。

・感染症発生時の初動対応を理解し、嘔吐物処理については、手技演習を実施した。

・入居者及び職員のインフルエンザの罹患者は0名。新型コロナウィルスの罹患者は利用者9名、職員8名であった。クラスターが2回発生したが、ユニットの特性を活かし個別に対応した結果、施設内の感染拡大を防ぐことが出来た。なお職員8名のうち3名は家庭での感染である。

②　褥瘡予防委員会（偶数月　第４木曜日）

・軽度の褥瘡発生者は8名。褥瘡発生後、的確な処置をし5名完治している。また、発赤等があり褥瘡の可能性が高かった1名は早期に対応すること

により、重度化を防ぐことができた。

・毎月ブレーデン（皮膚のトラブル）の記入をし、予防に努めた。

③ 栄養管理委員会（奇数月　第3木曜日）

行事を通じて「食」を楽しんで頂こうとしたが一部中止する行事があった。

④ 身体拘束廃止・事故防止対策委員会（毎月　第3金曜日）

本年度の事故件数は77 件、内 9 件は病院受診したため、市に報告した。（令和 3 年度の事故件数は122件、市への報告は 10 件）

内訳は転倒の事故が 39 件、転落の事故が 12 件、薬の事故が 11 件、その他 15 件であった。また、頻度の多い事故事例を用いた事例検討方式による内部研修を行った。

⑤ 防災対策委員会（毎月　第1火曜日）

防災訓練実施内容

開催月	内　容
4月	防災設備確認
5月	情報伝達訓練
6月	防災食の活用について
7月	非常用自家発電機の操作訓練（AED）
8月	避難誘導・通報訓練(2F 火災想定)
9月	総合防災訓練・おんぶらっく訓練
10 月	防災設備使用方法・放水訓練・消火訓練 （外部講師：伊豆防災㈱）
11 月	避難誘導・通報訓練(地震想定)
12 月	避難誘導・通報訓練(3F 火災想定)、非常呼集訓練
1月	情報伝達訓練（地震想定）
2月	炊出し訓練、次年度の防災訓練計画
3月2日	家具の安全確認、防災対策委員会の反省

⑥ 優先入所検討委員会（6/14、9/1、12/1、3/2）

優先入所基準に基づき入所に係る順位の決定を行った。

⑦　口腔内の喀痰吸引等安全対策委員会（4/11、7/11、10/17、1/8）

喀痰吸引実施研修を受講済の職員により、認定特定行為業務従事者に対して、研修を1回実施した。また、看護師の指導の下、手技の確認を実施した。

⑧　安全衛生委員会（毎月　第4月曜日）

職員の健康管理及びストレスの軽減等について、年間計画を立て検討し対策を講じた。

⑨　施設長・主任会議（毎月　第1火曜日）

経営状況等の重要な情報について共有し、検討・対策を講じた。

⑩　施設運営会議（毎月　第1火曜日）

各部署での問題点・相談事項を施設全体で共有し、検討を行う場とし活用した。

⑪　フロア別会議（毎月　第1火曜日）

各フロアでの問題点・相談事項を共有し、検討を行う場として活用した。

令和4年度　スキルアップ内部研修参加状況

開催月	研修項目	研修講師	参加延人数
4月	安全運転・権利擁護	生活相談員	48
5月	感染症防止	感染対策委員会	44
6月	認知症	介護支援専門員	48
7月	AED 使用方法	生活相談員・富士見台消防署	56
8月	プライバシー保護法令順守	生活相談員	38
9月	利用者権利擁護 虐待防止（動画研修）	高齢者虐待防止委員会	55
10 月	感染症防止（動画研修）	感染対策委員会	55
11 月	夜間対応・楽薬事故防止	医務	56
12 月	事故防止②	身体拘束廃止・安全対策委員会	54
1月	ターミナルケア・褥瘡予防（動画研修）	看護師	54
2月	高齢者虐待防止・身体拘束	生活相談員	54
3月	認知症の理解・ハラスメント	生活相談員	54
随時	喀痰吸引（実技）	指導看護師	6

令和4年度　スキルアップ外部研修参加状況

職種	研　　修　　名	人数
管理栄養士	第 10 回フード・メディケアフーズショー（WEB）	1 名
	令和 4 年度衛生・栄養管理講習会（ｵﾝﾗｲﾝ）	1 名
	令和4年度栄養士研修会（ｵﾝﾗｲﾝ）	1 名
介護職	安全運転管理者講習	1 名
	介護施設における安全対策担当者研修（WEB）	2 名
	排泄ケア WEB セミナー（WEB）	5 名
	褥瘡予防の基本	1 名
	富士市介護従事者新任職員研修（WEB）	2名
	「福祉・介護施設の管理者等を対象とした感染症講座）（WEB）	1 名
	介護の仕事の面白さとこれから活躍する介護職に求められる在り方とは（WEB）	1 名
	認知症ケアセミナー（WEB）	1 名
	ユニ・チャームオンラインセミナー　便秘ケア	2 名
	良いケアを目指し拘束虐待をなくす～生きているものは動く～（WEB）	6 名
介護支援専門員	介護保険サービス提供事業者説明会	1 名
	アセスメント向上研修	1 名
	令和 4 年度第 2 回　施設ケアマネジメント	1 名
事務員	介護保険サービス提供事業者説明会	1 名
生活相談員	介護施設における安全対策担当者養成研修（WEB）	1 名
	福祉機器を用いた腰痛対策・環境整備セミナー（WEB）	1 名
	令和 4 年度社会福祉法人経営者研修会（人事管理コース）	1 名
	介護保険サービス提供事業者説明会	1 名
	介護・福祉業界の採用 PR/情報発信力向上セミナー	1 名
	第 19 回富士介護サービス研究集会	1 名
	富士圏域トップセミナー	1 名
	相談員連絡会	1 名

令和4年度　行事実施内容

実施月	行　　事
4月	誕生日会、ドライブ
5月	誕生日会、お楽しみ食事（外注）、端午の節句
6月	誕生日会、さつま苗挿し、おにぎり・焼きそば作り
7月	誕生日会、七夕会
8月	誕生日会、夏祭り、お楽しみ食事（外注）、防災訓練
9月	誕生日会、敬老のお祝いと祝い膳、モロヘイヤ収穫・調理、キャベツとブロッコリーの植付け、防災訓練
10 月	誕生日会、おやつレク（みかんゼリー）
11 月	誕生日会、さつま芋堀、焼き芋、花植え（ビオラ）
12 月	誕生日会、クリスマス会、焼き芋、おやつレク、 ブロッコリー収穫、年賀状作り
1月	誕生日会、正月遊び
2月	誕生日会、ケーキバイキング
3月	誕生日会、ひなまつり、寿司バイキング